

「原山市民公園」への大型遊具等整備に向けた意見交換会（第2回）議事録

日 時：8月30日(水) 19時～20時半

場 所：市役所2階201・202会議室

参加者：市職員3人（福祉部長、子育て支援課長、都市計画課長）

子育て関係団体15人

会場参加 5団体 13人

Zoom参加 2団体 2人

内 容：福祉部長挨拶、自己紹介、資料説明、質疑など意見交換

参：参加者、市：市担当者

参：今年は特に昼間は暑すぎて、遊べなかった。夜祭りなどへ行くと、子どもがとても活動的になる。台湾やタイなど暑い国では、夜市など気温の下がる夜に活動している。これからますます温暖化することが予想されるため、ナイター設備を設け、夜も遊べるようにしてほしい。

参：若い子たちのデートスポットになると良いと思う。高校生などがデートしている姿を見ながら子どもたちが育つことにより、大人になってから地元に戻る選択をするようになるのでは。

市：できること、できないことはあるが、これだけ暑くなってきているため、何らかの暑さ対策は必要あると思っている。

参：おばあちゃん世代でも子どもと過ごせるような環境整備をしてもらいたい。

参：きれいな水が流れているととても癒されるため、高山らしい自然を活かした公園にしてもらいたい。

参：平日の昼間、子どもたちが使っていない時間帯でも、デイサービスを利用する高齢者が散策できるような環境整備をすれば、活用の幅が広がり、利用度が高まるのではないか。福祉車両やバスからの乗降がしやすく、車椅子でも楽しめるような園路を作してほしい。

参：先日長良公園へ行ったが、大きな木が30本位植えてあり、木陰のベンチで大勢の親子や祖父母らが休んでいて、高山より涼しいと感じた。大きな木を沢山植えて、木陰で過ごせるようにしてほしい。

参：子どもが車椅子を利用しており、お出かけをしたいが、炎天下をずっと歩くのも難しいため、行ける場所が限られている。整備対象エリア外だが、花時計の下あたりを車椅子でも横切って散策できたり、大きな東屋が中心部にあるなど、長い時間楽しめるような環境整備をしてほしい。

市：整備対象エリア（グラウンドと斜面の一部）として着色した部分は、1億3千万円の事業費でプロポーザルにより選考する大型遊具などの設置を想定した場所である。それとは別に、原山市民公園全エリアについても、園路が狭かったり段差がある、駐車場から遠い、トイレが現状で良いかなど、この機会に課題を整理し、別に数千万円の事業費をかけて、できるものは対応していきたい。

参：冬でも楽しめるような工夫ができると良いと思う。

参：小さくても良いので屋内施設もできてほしい。

参：都市部には「防災公園」として整備された公園がある。防災面での配慮がなされた遊具を考えても面白いのではないか。

参：大阪の公園は大きな木が沢山あるが、見通しも良く、滞在しやすく作られている。これから大きな木を沢山植えることは難しいと思うため、東屋程度ではなく、外周をキャノピーで囲って保護者が座れるようにし、中央部分で子どもたちが遊べるようにする位でも良いと感じる。

参：杉崎公園へは車で30分程度で行けるため、同じような公園を市内にも作る必要性は低いと感じる。飛騨圏域のなかで様々な楽しみ方のできる公園があれば、飛騨市や下呂市、白川村からも人が集まってくるのではないか。具体的には、鋼製遊具は暑くて遊べなくなるので、morinosのような木や自然に囲まれたプレーパークのような公園があると良い。

参：木が多くある部分にハンモックエリアを作ると、重度身体障がいのあるお子さんも利用することができる。

参：中学生の子どもが居るが「地域には遊べる公園がない」と言う。高校生位までの子どもが楽しいと感じるまちでないと、将来、戻って子育てしたいと思わない。中高生でも気兼ねなく様々な遊びが楽しめるエリアは、原山市民公園でなくても良いので、ぜひ考えてもらいたい。自身の子どもは、「各学校を回るバスがあれば、郊外の遊び場にも自分たちで行けるので、中心部でなくても構わない」と話していた。

参：杉崎公園が鋼製遊具になり、禁止事項の掲示が多くあって残念に思う。原山市民公園は、バッタやセミ、トンボ、蝶々など昆虫の種類が非常に多いことが魅力である。せっかく自然豊かな高山で育つ子どもたちなので、木や水など自然を活かしたプレーパークになって欲しい。

市：小さな子どもでも遊べる公園が欲しいといった意見が以前から多くあり、今回は、年齢層に応じたコンビネーション遊具などの整備を進めさせてもらいたい。様々な意見を聞かせてもらい、公園ばかりではないが、今後の施設整備に活かしていきたい。

市：既存の原っぱを無くしてしまうような整備は考えておらず、虫取りなどは、引き続き同じようにしてもらえると考えている。

参：スライダー横の斜面は常に湧水が多い場所である。これから測量とのことだが、整備後の修繕費が多額となることが予想されるため、水資源を活かして小川にした方が良いのではないか。

市：市でも湧水のあることは承知しており、測量を進めるなかで、どのような水処理をするかは考えていきたい。

参：療育に携わった経験から、幼児をすぽっとはめる形をしたブランコは、しっかりとロープを手で握ったり、前後に揺らすという感覚が得られないなど、発達には良いものではない。療育施設は週に1回1時間などと利用できる頻度が限られているため、療育に使用する寝ている子や複数名でも利用できる大きなブランコ（オーシャン）を設置するなど、身近な公園で「感覚統合（感覚を整理・統合して身体をコントロールする）」に役立つ遊びができると良いと思う。

市：原山市民公園に限らず、どのような遊具があるべきかは考えさせてもらおう。

参：子どもたちは、アスファルトの上の禁止事項ばかりの公園で可哀想な思いをしている。飛騨らしさ、森を活かした遊具のある、泥や水遊びができるような公園を作ってもらいたい。

参：下から出る水のトンネルを車椅子で通れるような場所があると良いと感じる。

参：冬になると、そり遊びしかできなくなるため、室内でも遊べる場所ができると良い。

参：夏がひどく暑かったため夏ばかりに目が行くが、冬の寒さも厳しく、子どもがそり遊びをしている中、保護者が待っているのはとても寒いため、そり遊び以外もできたり、保護者が温かくして待てるなど、冬の利用も考えた公園整備になると良い。

参：現在も火を使える場所があるが、屋根もなく、あまり知られたり使われたりしていない。BBQがし易い場所ができると、若者がデート場所に使ったり、デイキャンプのように大人でも一日楽しめる場所となるのではないか。

参：飛騨市ではスキー場跡地でドローンを使えると前面に出してPRしている。広い公園敷地を活かして、高校生などに向けても、こんなこと、あんなこともできるとRPすることも重要と感じる。

参：コンセプトを分ける必要性があったのか疑問に思う。木や土や水もあって、キラキラしたものもあってなど、様々な魅力が合わさった公園があっても良いのではないか。

**市：貴重な意見と受止め、他の意見とともに事業者に伝えさせてもらう。**

参：丹生川町森部に住んでおり、丹生川にはグリーンパークひろの、運動公園が整備されたが、地域の若い人たちが集う場所がないということで、公民館の横にBBQ小屋を自分達で建てた。若い人の集まりにお年寄りも混ざって交流が進んでおり、そういった若い人たちが集まれる場所ができると良いと思う。

参：夏はとても暑くて公園では遊べないが、夏限定ですべり台から水が出て、ウォーターライダーのようになる公園があると聞いた。市民プールも整備されるが、原山市民公園も水場があるので、もう少し規模を大きくして、水遊びができるようにしてほしい。

参：夏はすべり台が高温になるため、子どもを遊ばせられなかった。すべり台を作らなくても、原山市民公園の地形を活かして斜面を段ボールですべり降りられるような整備も考えられるのではないか。

参：できる限り地形や自然を活かし、スキー場になる前の森に戻していくような整備になると良い。木が育つまでの間、ターフで日陰を作るなど工夫しながら、今回整備して以降も「継続的に作っていく公園」となると良い。

参：子どものオムツを変えるのにユニバーサルシート（大型ベット）が必要。市内で改修や新設されたトイレで、ベットがなかったり、ベットはあるが車椅子が入れるスペースがなかったり、取付位置が悪かったりと残念な場所が少なくない。施工業者に任せきりにせず、設計段階で図面を見て意見を言わせてもらいたい。飛騨市では、既存のトイレブースを広げてでも、有効な整備となるよう意見を反映してもらっている。

参：ワンボックス車の後部ドアを開けて、スロープを引き出して、車椅子の子どもを降ろす必要がある。横幅のみを広く取ってある身障者用駐車場では、そのような利用ができないため、縦幅も広くとってもらえるか、車いす用の乗降スペースを駐車スペースとは別に確保するなど、車椅子利用者に配慮した駐車場整備をしてもらいたい。

参：動き回る子どものため、母親が用を足している時に中から鍵を開けてしまって困って

いる。子どもの手が届かない高い場所に、もう一つ鍵をかけられるようにしてもらいたい。

参：冬にスキーウェアを着て公園で遊ぼうと思っても、トイレが閉鎖されている公園ばかりのため、1時間も居られない。冬期間もトイレを使えるようにしてもらいたい。

参：今回のような大規模な整備をするなら、大勢が集まったり、遠足など団体での利用も考えられるため、トイレは複数個所に、便器も十分な数を設置してもらいたい。

市：プレーパークを設けてほしいといった意見は、第1回目の意見交換会でも多く聞かれた。今年度、部課長で川崎市「子ども夢パーク」に見学に行き、子どもの居場所としても機能している興味深い施設と受止めた。

市内にもそういった場所があるべきといった市民の声が高まれば、今後、整備を考えていくこともあり得るが、原山市民公園を常駐のプレーリーダーを配置したプレーパークにするとといったことは、今回の事業（1年半）では難しいと考えており、親子で自由に遊ぶことを想定し、禁止事項ばかりとはしないなど、市民が望まれる姿に近づけていきたいと考えている。

参：県庁職員から「県内プレーパークマップ」を見せてもらったら、下呂市から上がらない地図で衝撃を受けた。飛騨圏域にプレーパークがあった方が良いという話は、県庁内でも言われているようだ。移住者が都会から地方に来て、自然のなかで子どもたちをのびのび遊ばせられるとは感じられない。生きていく強さがより必要となっている社会で、子ども達が自主性や主体性を育ていけるような場所は、早急に整備してもらいたい。

参：子どもたちだけの公園ではなく、色々な年代の人が利用でき、楽しめる公園としてほしい。高山には、若い人たちがデートできるような場所（ロマンチック、エロス）が足りていない。中学生が、高校生になったら原山でデートするのが夢と言われるようになったり、大人もデートする高校生たちを見守れるようなまちが健全と思う。

参：中高生に聞いたが、「村半」は優等生が行く場所と言われており、優等生と思われるのは恥ずかしいが、したいことのある人は行っている状況とのこと。高山には「不良（生徒）」が居ない。良くも悪くも自分を主張できる場がないと昔から言われている。夜も含めて、優等生でない子ども達が過ごせるような場所も必要ではないか。

参：市全体の公園のビジョンがないなかで原山市民公園だけ先行すると、おかしなモノができてしまわないか。意見を聞いているうちに、予算ありきで大きな遊具整備を進めることが、果たして良いことなのか心配になってきた。

参：ポップ公園で、男子高校生は水風船をぶつけ合って遊んでおり、女子高生は芝生でSNSに投稿する写真などを撮影して過ごしている。駅西ではダンスをして、動画を撮っている。高校生たちが集まるには「映え」の要素が必要ではないか。

参：意見のあった、自然豊かで木立のなかを散歩できるような公園は、市内の他の公園にもあると感じている。原山市民公園はアクセスも良いので何もかも詰め込みたくなる気持ちも分かるが、原山市民公園ですべきこと、他の公園ですべきことなどもあると思うので、市民に親しんで使ってもらえる公園とするにはどうしたら良いか、様々な意見を収束していくことも必要と思う。

市：様々な意見をいただき感謝する。市内には様々な機能や目的、特徴を持った公園があり、PR不足などにより市民に伝わっていない部分については努力していく。公園全体

のビジョンについては、別途検討を進めているところだが、今回は、原山市民公園に親子が楽しんで過ごせるような遊具を整備するもの。市民の皆さんの意見を反映しながら、より良い施設整備としていきたいので力添えをお願いしたい。

市：市民の皆さんが、様々な視点をお持ちと理解した。Webフォームでも意見を出せるようにしている。いただいた意見を今回の整備で全て実現することは難しいが、できるだけ取り入れて、市民に喜ばれる公園にしたいと考えているので期待いただきたい。

以上